

## 高松学習館運営協議会（令和8年1月）会議録概要

開催日時 令和8年1月8日（木曜日）午後6時30分～7時45分

開催場所 高松学習館 第1教室

出席者 [委員] 丸山あかね（立川市社会福祉協議会）

梅田茂之（自治会連合会栄町支部）

川合博（立川市高松児童館）オンライン参加

難波敦子（立川市生涯学習市民リーダーの会）

小原雅俊（たちかわ市民交流大学推進委員会）

栗原政子（学習館利用団体）

結城まりこ（学習館利用団体）

戸井田宗二郎（公募市民）

欠席3名

[事務局] 柳澤健太（高松学習館係長）、富田瑞代（会計年度職員）

大学生5名

定数の過半数の出席により会議成立とする。

### 議事

#### 1. 会長あいさつ

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。本日は学生さんが来てくださっている。先日のたかまつりは皆様のおかげで無事にイベントを終えることができた。翌週の幸学習館のかわせみ祭と錦学習館のプレ錦まつりでもお会いした学生さんがいた。学生さん達の活躍は本当に素晴らしい。

#### 2. 地域課題共有

- ・ A委員:大きな行事は終わっている。昨日まで競輪場で鳳凰賞典レースがあった。4日に子ども向けイベントのパトロールで競輪場に行ったら親子連れが多かった。環境整備されてきれいになったが集合棟までがいきづらくなっている。
- ・ B委員:市民リーダーのビデオを制作しアピールしていくことになった。機会があれば皆さんにもぜひご覧いただきたい。
- ・ C委員: 配布のチラシのとおり、旧健康会館1階アンテナショップを「ふらっとたかまつ」という名称で誰でも立ち寄れる居場所ということで開所している。週に2回オープンしている。1月と2月に実施するイベント(折り紙、編み物、チェアバレトン、お金講座)を掲載した。イベントのない日もお茶を飲みながらおしゃべりをする。ぜひお出でください。
- ・ D委員:年始は子どもの冬休み中にお正月遊びを実施した。1/21は書道を楽しみながら体験する。中学生も綾取り等を教わって楽しんでいる。気軽に来館いただきたい。
- ・ E委員:市民推進委員会で2011年制作「ドーバーばばあ」の映写会を実施した。「ドーバーばばあ」パートIIを4月～6月の間に無料で上映する予定。詳細がわかったら報告する。

- ・ F 委員：企画を考えている。昨年はスパイ関連の講演会等を企画した。戦争の問題への理解、命が犠牲になるという過去の歴史の反省ということを広げたい。先日チャプリンの独裁者という映画を観た。思いやりが大事だと感じた。立川市長が提案した「核兵器廃絶平和都市宣言」が市議会でやっと成立した。会から意見書を提出し議員が熱心な声に動かされて賛同を得たと聞いている。今年も頑張って活動したい。
- ・ G 委員：寿教室で 1/16 新年のつどいを高松会館で開催する。会員 30 名位が参加する予定。班の出し物やカラオケ等を楽しみにしている。
- ・ H 委員：1/24 落語会のお手伝いをする。毎年出演する子ども(兄妹)の成長を見るのが楽しみで初々しさを感じる。

### 3. 報告事項

- ・ 事務局より下記について報告があった。
  - ・ 施設設備ほかについて  
空調の方は現在のところ順調。来年度に向けて学習館の各教室と図書館に旧健康会館から空調設備の移設と新規工事の予算が承認された。詳細は来年度わかり次第報告したい。
  - ・ 施設予約システムについて  
1/5 より新システムのサイトがオープンした。今のところ大きな混乱はない。各学習館に利用サークルから連日数件の問い合わせが来ており、主な内容はパスワード変更のやり方。既存サークルでログインするところを新規利用登録から入ってしまうケースが何件かあった。

(委員より)

A 委員：先ほどの空調の話だが、アンテナショップの空調はどうなるのか。  
事務局：アンテナショップと学童保育所が入る部屋の空調はそのまま使用できる。使用しない部屋の空調を 3 階に移設する予定。不足する分は新設工事をする予定。今の全体の空調も稼働してプラス、個別の教室に空調が設置され温度調節ができるようになる予定。

### 4. 協議事項

- (1) 前回議事録(案)について 承認された。
- (2) 地域活性化事業について 事務局より今後実施予定の事業について説明があった。1/24 新春たかまつ落語会の司会は難波副会長、受付は結城委員が担ってくれる。2/3 たかまつ映画会の司会は栗原委員にお願いしたい。1/10 よりいくつか事業の受付を開始する。
  - ・ 東京学芸大学との連携事業ふりかえりについて  
学生より資料に沿ってたかまつりの活動報告があった。学生と委員の全員で感想や意見を共有した。

事務局：先月の地運協でポップコーンが足りなくなって残念がっていた方が多かったという話があった。来年度以降、ポップコーンを配布するなら多めに用

意した方がいいということになった。

G委員：前回までと容器が変わってビニール袋にしたので1人分の分量も多めで数が不足したのかもしれない。来場者全員とスタッフに配布できなかったので申し訳なかった。

事務局：学生さんのふりかえり報告を受けて委員の皆さんからもコメントをいただけたらと思う。アンケート集計で俳句を楽しんだ子どもが21%と多かったのは驚きだった。お祭りだと身体を動かす踊りや楽しい縁日等が人気だと思うが、教室で季語を使って句を詠むことが楽しいと思う子どもが意外に多くて今後企画を考える上で参考になっていくと感じた。

近隣小学校へのチラシ配布や掲示板の活用に加え、来年度は旧健康会館の1階に学童保育所が夏頃に開設される予定なので子どもの参加が増えることを期待している。1階にアンテナショップもあるのでアプローチして上手く集客につなげられたらと思う。地運協の皆さんとも考えていきたいと思っている。

G委員：各ワークショップで実施時間が重なっている時間帯がある。寿教室の仲間に声をかけて来てもらったが、子ども達が他のワークショップに参加している時間で誘導できなかった。各ワークショップの実施時間の工夫が必要だと思う。会場はカーテンを閉めてスポットライトを当ててもらって良かった。高齢の方もいたので座って待てるように椅子も出していただいた。立川音頭を新立川音頭に変更したが、参加の皆さんはすぐに習得して踊ることができ喜んでいただいた。30分の中で最初の5分で振り付けを練習した。アナウンスもお願いしていたがなかったと思う。

F委員：当日は所用でお手伝いできなくて申し訳なかった。学生さんから事前にいろいろな企画について助言があればということがあったが、長期的に実施していると発展的でなくなりがちで従来通りに実施する傾向が強い。事前に話し合うことが大切で特にたかまつりを実施する主旨について事前に話し合うだけでも価値がある。憲法関係の企画をやっているのも例えばアニメ映画なら子どもが参加しやすいかもしれない等いろいろ考えている。

H委員：ポップコーン作りが中心だったのであまりブースを回らなかったが、若い人達が楽しそうに参加していた。先ほど話に出たように時間帯が重なっているところがあることと、今から何が始まるというアナウンスがきちんとしてなくて曖昧な感じがした。種類が多いせいかもしれない。参加してみたい企画はあったが、時間が被っていると参加できない。種類がたくさんある方がいいのかどうかの判断が難しい。全体的には若い人達の力が出て明るく楽しそう良かったと思う。

E委員：前はポップコーンが余ったが、今回は足りなかったのもやはり余るくらい作った方がいい。材料を多く用意してほしい。最初に大人に配り過ぎたかもしれない。新立川音頭は20年以上前から踊っていることを知り驚いた。

G委員：ポップコーンは家族で来た方には大人にも配布した。最後は子どもにも配れなくなった。入口のポップコーンの案内を外した。

D委員：客寄せのためにのぼり旗を持って歩き回ったが、当日会うのは出かける途中の家族や子どもだった。児童館でもPRチラシを掲示したが、拡大しても

っと目立つように大きなポスターを掲示し宣伝すればよかったと思う。1～2週間前から通りかかる人の目にとまるように大きなポスターを貼ってもいいと思う。当日は人通りが少なかった。各ブースを見させてもらった。児童館職員も工作や立川音頭に参加させてもらった。おはなしの世界では第1部は図書館職員がいたが、第2部はいなかった。第2部も図書館職員にアドバイスをもらえるような読み聞かせの体験がいいのではないかと思った。惹きつけるような技があるので単に読み聞かせをするのではなくコツを学ぶと楽しめる。小学生だけでなく年長児や保育園児も体験できる。子どもも読み聞かせができることをアピールするといい。児童館では中学生や小学生高学年の子も読み聞かせをやっている。次回は周知してたくさん来ていただけたらと思う。

C委員：当日はお天気が良かったためにお出かけするパターンもあって集客は難しいのだなと感じた。俳句のブースで子ども達が抵抗なくさらさらと書いていたのに驚いた。季語もたくさん用意してくださって、大人だと考えてしまい時間がかかる。子ども達は工作と同じように気軽に参加していた。歌に合わせて手話をつけるワークショップは子ども達も楽しんですごかった。先生が盛り上げるのが上手で皆さん楽しんでいた。ポップコーンの数が少なくて注意しながら渡していたが、家族だと子どもだけに渡せるが、大人1人で来た方には渡さないわけにいかない。大人もスタンプラリーを回って楽しみにしていた。

B委員：今回は工作に関わったので俳句もおはなしの世界も見るができなくて残念だった。確かにブースが多いのかもしれない。工作はやりたいものを全部作れるようにしたので一つだけ選んでもらえばよかったのかもしれない。または最初から作るものを一つに絞ってもいいのかなと思った。

A委員：皆さん素晴らしい出来だった。ふりかえり報告の資料も初めて出してもらった。学生の知識を活用した講座、俳句等が盛り上がったのは皆さんにとっても大きな成果と思う。ご指摘いただいた中で学習館の継続利用が不透明というのは自分達にとっても同様。地運協メンバーの紹介、どんなことができるのか、学習館で何ができるか、ソフト面とハード面の両方の宣伝が足りないと感じている。あと、企画に助言をとということだが、最初から十分な助言をさせていただいた。プレたかまつりに来ていただいた時にこの学習館の大変な実状を見ていただいて、これをどう盛り上げるか、困ったなという課題からスタートしていただいた。自分達も場を作ったり盛り上げるのが不得手なのかもしれないので次につなげていけたらと思う。来年もぜひお手伝いいただけたらと思う。先ほど話に出たが、開会式がなかった。昨年度は閉会式でクリスマスツリーに皆で工作を飾って締めた。参加してくれた子ども達が良かったと言ってくれる姿を見たい。そういうセレモニー的なものがイベントには大事。自分達も学ぶことがたくさんあった。ぜひまた遊びに来ていただきたい。

事務局；委員の皆さん、ありがとうございました。各イベントのアナウンスをする時に読み聞かせの途中だからアナウンスするのはどうかと何回も感じた。事前にタイムスケジュールを確認したが、実際になってみて難しいとわかった。学生さんも体験したことを後輩の学生さんに伝えていただけたらと思う。来年度よろしければお手伝いに来ていただけたらと思う。

学生さんからもコメントをお願いしたい。

学生：リハーサルをもっと当日やれば細かいところを考えることができたと思う。学生も他のブースを見ることができなかつたので数が多かつたのかと思う。

学生：学生の知識を活かした講座ができて好評だったのが成果だった。ご指摘いただいた通り、アナウンス込みの時間を設定した方がよかつたと思う。講座の5分前にアナウンスするようにタイムスケジュールを組む必要があると思つた。入口に各企画の実施時間帯を貼っていたが、それだけだと来場者には何時に何があるか把握するのは難しい。講座の数が多いと思つていたが、全ての講座に参加できるように導線どおりに実施していくか、いろいろ選択肢があつてやりたい講座を選ぶことを大事にするか、こういう視点があるということのを来年度に伝えていきたいと思う。

学生：工作を3種類実施したので全部やりたい人はずっとそのブースにいることになった。工作で時間を取ってしまったて他に行けないということがあつたと思う。講座の時間の被り、人の流れをもっと上手く作れたらよかつたと思つた。たかまつりを通してたくさんの方々協力していただいてとてもいい勉強になった。

学生：学生の得意なところ、研究分野をやらせていただいたのは感謝。工作等を常時開催するのは良かれと思つてのことでいつ来ても参加できる形にしたが、かえて時間が被ってしまうことになった。実際にやらないと気づけなかつたこと。錦と幸でも講座をさせてもらったが、ゼロから企画させてもらえて良い経験になった。

学生：常時開催していればいつ来ても楽しめると思つていた。俳句で子どもがスラスラできたのは大学生としゃべる時間がたくさんあつてそれが良い影響を与えることができたのかなと思つた。親と来ていても大学生とおしゃべりしたり交流できるのが魅力。錦と幸は大学生の人数が多いのでどこに行つても大学生と話ができる。たかまつりは大学生が少なくてそれ以外の魅力を出していくことが課題と思つた。

事務局：他に何かお気づきのことがあれば発言いただきたい。

F委員：できれば2週間前には大きなポスターの掲示をする方がいい。小さいサイズだと目立たない。柴崎だとかなり前から装飾をしている。

## 5. その他

- ・ 地運協交流会について：令和8年2月14日（土）午後2時～4時、市役所302にて 参加予定委員：梅田会長、難波副会長
- ・ 次回の開催日について確認した。
- ・ 学校だより 第二中学校区の小中学校のおたよりを配布した。

以上